
『全世代通信』 第 27 号 2018/10/31 第 7 回全世代フォーラム開催案内

NPO 法人「全世代」メールマガジン <http://zensedai.org>

11 月 10 日（土）に開催される第 7 回全世代フォーラムのご案内をします。今回は地方の活性化に向けた NPO の役割をテーマにしました。会場は前回 5 月のフォーラムと同じ早稲田大学 19 号館（新宿区西早稲田 1-21-1）です <https://www.waseda.jp/gsaps/access/>
（詳しくは < 2 > ★を参照ください）

来年度、寄付金等に税制優遇のある「認定 NPO 法人」の格上げに向けた取り組みが佳境にあります。ぜひとも知人、友人に声をかけフォーラムを成功させましょう。

また久々の『全世代通信』のため、内容満載です。お時間のある時、最後まで目を通して頂けると幸いです。

（このメールマガジンは会員はじめ、私たちの活動にご理解、ご支援を期待する皆さまにお送りしています）

▼今号の内容

- < 1 > 第 7 回全世代フォーラム< 地方活性化と、NPO の役割 > 迫る
- < 2 > 理事会も同時開催
- < 3 > 保育プロジェクト 全国の病院に第 2 弾アンケート実施（新着情報）
- < 4 > [第 4 回全世代アゴラ]報告
- < 5 > [第 5 回全世代アゴラ]報告
- < 6 > [第 6 回全世代アゴラ]の開催予告
- < 7 > 事務局から

| < 1 > 第 7 回全世代フォーラム< 地方活性化と、NPO の役割 > 迫る

日時：2018 年 11 月 10 日（土） 場所：早稲田大学 19 号館 7 1 1 教室

共催：早稲田大学アジア太平洋研究センター

☆13 時 45 分開場 14 時開会 入場無料

総合司会：飯塚陽子（全世代理事、医師）

[主なプログラム]

14:00 開会挨拶（医師の地理的へ偏在解消提言についても言及） 尾身茂（全世代代表理事）

14:10 NPO 全世代の活動報告

- ① 待機児童問題を解消する「病院内保育所」の地域開放の取り組み 石濱人樹（全世代代表理事）
- ② 他の NPO との連携について 仁木崇嗣全世代理事、ユースデモクラシー推進機構代表理事）

- ③ 全世代会員の集いの場「アゴラ」について 宇井睦人（全世代理事）
- ④ ホームページ刷新について 高津晶（全世代代表理事）
- ⑤ 認定NPOに向けた取り組みについて 事務局 森 裕子

<休憩>

14:50 パネルディスカッション「地方活性化に向けたNPO活動を考える」

- ・内田健夫（全世代理事、医師）
 - ・千葉光行（認定NPO法人 健康都市活動支援機構 代表）
 - ・小柴巖和（三菱UFJリサーチ&コンサルティング新事業開発室副部長）
 - ・仁木崇嗣（全世代理事、ユースデモクラシー推進機構代表理事）
 - ・藤岡雅美（経済産業省 「不安な個人、立ちすくむ国家」作成メンバー）
- コーディネーター：大宅映子（全世代代表理事、評論家）

16:45 声明文採択

16:50 閉会

(敬称略)

| <2> 理事会も同時開催

フォーラムに先立ち、同じ早稲田大学19号館の710教室で、理事会が同日13:00から開催されます。別便で理事の方々には議案等の案内メールを送付します。出欠のお返事（欠席の場合は書面議決）をよろしくお願ひします。

★会場は五月のフォーラムと同じ早稲田大学19号館（新宿区西早稲田1-21-1）。19号館は大隈重信侯の銅像が立つメインキャンパスから道路を渡った西端で、中央図書館の隣、堀部安兵衛碑の向かいのビルです。」

【早大19号館までのマップ】 <https://www.waseda.jp/gsaps/access/>

初めての方はGoogleマップで早稲田大学19号館（新宿区西早稲田1-21-1）を検索ください。

| <3> 保育プロジェクト 全国の病院に第2弾アンケート実施（新着情報）

待機児童問題に解消策として病院内保育所の地域開放を推進するため、NPO全世代は全国の主だった病院が加入する「日本病院会」と「全日本病院協会」の協力を得て、各地の病院に対しアンケート調査を行いました。2016年11月に実施した調査に続く第2弾になります。全世代は先のアンケート結果を踏まえ、内閣官房、厚労省、地方自治体等の各関係者との協議を通じ、複雑な国や自治体からの助成金活用に関する「病院内保育所の地域開放についてのガイドラ

イン]を作成しました。その上で今後は病院内保育所を地域に開放する希望のあった病院に対しては、NPO 法人「全世代」として、ガイドラインの内容に沿ったアドバイスを提供していきたいと考えています。

全219病院から回答のあった結果は次の通りです。

病院アンケート V2 まとめ			
	日本病院会	全日病	計
病院内保育所の地域開放に			
・興味なし	204	15	219
☆興味ある	41	13	54
計	244	28	272
全世代のアドバイスを			
・希望しない	31	8	39
★希望する	9	5	14

地域に根差す医療機関として、病院職員だけでなく、社会の喫緊な問題となっている待機児童解消のために地域開放に向けた意識の高まりを感じます。反面、保育士を確保する難しさや、費用負担の懸念といった現実面の課題も強く、病院単独で行うリスクもあります。ここに全世代が地域、自治体、国との橋渡しの役割があるのではないのでしょうか。

＜4＞ [第4回全世代アゴラ]報告

第4回『全世代アゴラ』の集いが6月21日（木）、青山の東京ウィメンズプラザで開催され、フリージャーナリスト、報道写真家の久保田弘信さんが「報道されないイエメンの現状」について講演しました。アラビア半島の南端に位置する「中東最貧国」イエメンは、イスラム教の宗派対立を背景に、北イエメンと南イエメンに分かれて内戦が続いていますが、世界のジャーナリストもほとんど現地取材できないなか、今年初め、久保田さんは苦労を重ねて現地入り。食料や医療品が届かないため、人道危機が深刻化している現状を数々の写真と映像で示しながら、報告して下さいました。日本とは経済的結びつきがないこともあり、テレビで報道できるチャンスはほとんどないそうですが、国連機関や民間ボランティアの援助も来ない中で日々を生きている難民キャンプにも入り、瓦礫になった我が家の前でじっと記者を見詰めた少女、これから最前線に向かう兵士たち、遺跡に囲まれ今もその歴史と文化伝統の中でたくましく、人なつっこく生きる人々の日常生活、食文化の一端も伝えてもらいました。質疑応答では、「なぜそんなに苦労してイエメンに行ったのか？」の問いに、久保田さんは「誰かが行かなければ、（世界はこの人道危機を）どうやって知るのか」とのジャーナリストの強い使命感を語ってくれました。アゴラ終了後、近くで交流会をして、さらに意見交換し、理解を深め合いました。

＜5＞ [第5回全世代アゴラ]報告

第5回「全世代アゴラ」の集いが9月27日（木）、青山の「東京ウィメンズプラザ」で開かれ、2004年アテネ・パラリンピックの円盤投げ銀メダリスト、佐藤京子さんが「2020で、世の中は優しくなれるのか？」のテーマで講演しました。佐藤さんは頸椎損傷で車いす生活が長く、認知症が進みグループホームに入った母親、床に落ちたものを拾ったり充電器から携帯電話をくわえてきてくれたりする介助犬（現在、再訓練中）との生活を含めた日常生活や、「すき間」のパラ競技を狙ってメダルを獲得した体験などについて話しました。過去20余年を振り返り、「駅にエレベーターも無かった時代に比べると、今は障がい者が街に出られる条件が整い、十分に優しい社会になった。一方で、ハード面だけでなく人々の気持ちやソフト面での環境はまだ課題も多い」と指摘しました。質疑応答やその後の交流会で、参加者とさらに意見交換を深めました。

＜6＞ [第6回全世代アゴラ]の開催予告

今回は世界的マジシャンであり精神科医の志村祥瑚さんに「マジックと精神医学であなただの思い込みをはずす！ ～認知行動療法 act 入門～」のテーマで登壇していただきます。志村さんは日本認知科学研究所代表理事で「第3世代ACT」という「鬱に対する認知行動科学」で日本の第一人者。幼少期よりマジックを始め、マジックの持つ錯覚や思い込みのメカニズムに興味を持つ。2012年ラスベガス Jr. マジック世界大会クローズアップ部門受賞。「思い込み」を医学的・心理学的にも研究していくために慶應義塾大学医学部在学中から認知行動療法 ACT の研究を始める。現在は精神科医として、マジックを通して楽しくわかりやすく「思い込みや先入観に気づき、豊かな人生を生きる人を増やす」ために活動中です。次回もまた格別に興味深く有意義な講演になりそうです。

★日時：11月29日（木） 18:30～20:30（受付18:00すぎから入室可）

★場所：青山の「東京ウィメンズプラザ」第2会議室

<http://www1.tokyo-womens-plaza.metro.tokyo.jp/>

＜最寄り駅＞

メトロ銀座線、半蔵門線、千代田線の表参道駅B2出口から徒歩7分

JR、東急、京王、メトロの渋谷駅ヒカリエ側出口より徒歩12分

★参加費 500円（全世代会員も非会員の方も老若男女・みな同じです）

・18:30 基調講演：志村祥瑚さん（思い込みの専門家、医師/マジシャン）「マジックと精神医学であなただの思い込みをはずす！ ～認知行動療法 act 入門～」

